第74期　中間事業報告書

平成26年4月1日 >>> 平成26年9月30日

SEMI-ANNUAL
BUSINESS REPORT

日本出版貿易株式会社

証券コード：8072

日本出版貿易株式会社（JPT）が異文化　交流の架け橋となる国際ネットワーク

海外での事業活動

当社及び当社グループは、創立以来、わが国の優良出版物をはじめ音楽・映像ソフト及び伝統文化的な雑貨やクールジャパン商品などを海外の大学図書館、世界の国々で活躍する日系在留邦人、日本研究機関、日本人学校などへ輸出するとともに、海外からも洋書、音楽CD及び雑貨などを輸入してきました。現在、このような事業は、当社と海外主要拠点に配置した当社の子会社、関連会社などを結んだ国際ネットワークを通じて、活発に行われています。

JPTグローバルネットワーク

JPT EUROPE LTD.

2000年英国ロンドンの三越内に書店として設立。2013年9月三越閉館に伴い単独の路面店として移転オープン。現在は店舗経営だけでなく日本語教材・語学書、英文書、音楽ソフト、日本雑貨品などの卸販売の拡販を推進しています。欧州地域市場の開拓と日本語語学書の拡販の成果で経営は堅調に推移しています。

- 住所：24-25 Denman Street, London W1D 7HU, U.K.

CULTURE JAPON S.A.S.

1997年に設立されたパリ日本文化会館内に日本文化紹介と日本雑貨品・出版物販売の店舗として営業を開始し現在に至ります。日本語普及の為にフランス日本語スピーチコンテストなどの企画と運営に協賛しています。その結果、フランス国内大学からの日本語教科書の採用による注文も拡大しています。

- 住所：101 bis, Quai Branly, 75015, Paris FRANCE

株式会社日貿出版社

水墨画・水彩画等の趣味、実用書を中心に出版を行っており、全国の書店や海外からも好評を得ています。

- 住所：東京都文京区本郷5-2-2

JPT AMERICA, INC.

1962年設立以来、当社の米国拠点として日本語教材・語学書、和書籍・和雑誌、日本文化関連英文出版物、ファッション文房具、紙製品、デザイングッズ、音響・映像ソフトなどの卸販売を行っています。また、米国製品の日本への輸出、情報収集と本社駐在業務など重要な役割も担っています。

- 住所：400 Oyster Point Boulevard, Suite 426, South San Francisco, CA94080, U.S.A.

L.A. Office

日本との輸出入貨物の窓口としての貨物転送業務やニューヨークなど東部地区と南カリフォルニア市場への卸営業を行っています。

- 住所：243 E. Redondo Beach Blvd., Gardena, CA90248, U.S.A.

HAKUBUNDO, INC.

ホノルルを拠点とする和書籍・和雑誌、日本伝統品、文房具、日本語関連出版物、音楽・映像ソフトの小売と卸販売を行っています。

- 住所：1050 Ala Moana Blvd Suite #1270 Honolulu, HI 96814, U.S.A.

海外事業部トピックス　第15回JAPAN EXPO　日本事務局業務

2014年7月2日から6日までの5日間、フランス・パリにて第15回JAPAN EXPOが開催されました。JAPAN EXPOは日本をテーマとした欧州最大の展示会で、来場者は5日間で2万4千人になります。出展者800社の内日本からは130社が出展し、日本のメディアでも大きく取り上げられております。近年はオタク向けのアニメ・ゲームだけではなく、ファッションや音楽、食、武道、伝統文化など幅広い展示を行い、フランスでの日本文化宣伝に大きな役割を担っております。

当社はフランス子会社であるCULTURE JAPON S.A.S. が和書籍販売ブース出展をすると共に、日本事務局の一翼として、日本から出展する企業様・地方自治体様の物流、販売をサポート致しました。特に当社が得意とする海外輸出入に関わる物流面では、多種多様な展示物を出展者様に代わり展示会場に送り届け、出展を無事成功に導きました。

「文化事業を通じて国際社会に貢献する」という企業理念のもと、海外への足掛かりのない企業様・地方自治体様と協力し、当社は各種展示会を通じて日本の文化や良品を世界に向けて発信・紹介してまいります。

私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します

代表取締役社長
綾森 豊彦

株主の皆様には、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による量的・質的金融緩和政策により円安株高が継続し、企業収益や雇用情勢が改善されるなど緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動に加えて、円安による原材料価格の上昇など、先行き不透明な状況で推移しました。また、東欧や中東における政情不安もあり世界経済全体では流動的に推移しており、国内外ともに株式市場や為替相場の変動が大きくなり不安定感が増した状況になっております。

当社グループの状況はほぼ第1四半期と同様の経過となりました。円安の継続により輸出事業は引き続き増収増益を維持しております。一方、輸入事業は販売価格の見直しや販路の拡大効果等により増収とはなりましたが、輸入コストに関して特に欧州通貨の円安の影響が大きく、減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は38億4百万円(前年同四半期比14.2%増)、営業損失3千9百万円(前年同四半期の営業損失2千8百万円)、経常損失2千9百万円(前年同四半期の経常損失3千4百万円)、当四半期純損失は2千7百万円(前年同四半期の四半期純損失3千6百万円)となりました。

当社の経営理念「私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します」のもと、社員一同気持ちを新たにし80周年、100周年に向けて国際社会に貢献する文化産業企業としての使命を果たして参ります。当社グループでは更に全社的に一層の売上拡大と経費節減を徹底することにより利益を確保し、株主の皆様方の期待に応えるべく役職員一同業務の向上に努める所存でございます。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

JPTイチオシ情報

シューベルト・エディション(69枚組CDセット)

これぞ天賦の旋律創造!ブリリアント・レーベルから待望のシューベルト全集!

クラシック・ファン垂涎のシューベルト大全セット!交響曲からオペラ&劇音楽、合唱曲ほか各分野の主要作品を網羅した永久保存版です!
シューベルトは、次から次に楽想があふれ出すという天賦の旋律創造の才能に恵まれた天才として知られ、わずか31歳という短い生涯の間に交響曲から歌曲まで膨大な数の作品を遺しており、その美しい旋律の数々は世界中のクラシック・ファンを虜にしています。

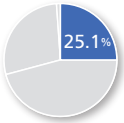
演奏: ブロムシュテット、スイトナー、ブランディス四重奏団、ディオゲネス四重奏団、エンドレス四重奏団、ベルリン・フィルハーモニー八重奏団、クノーテほか

エッセンシャル・シナトラ(3枚組CDセット)

フランク・シナトラ生誕100周年!シナトラが歌うジャズ・ソングを厳選した豪華3枚組セット!

2015年に生誕100周年を迎えるアメリカ史上最高のエンターテイナー、フランク・シナトラ。「カム・ダンス・ウィズ・ミー」「ナイト・アンド・デイ」「エンジェル・アイズ」「ブラジル」他、シナトラが最も得意としたジャズ・ナンバーの名唱の数々を厳選収録したコレクションです。古き良きアメリカの華やかなブロードウェイの雰囲気を感じさせる名曲が満載!

出版物・雑貨輸出事業



セグメント別
売上高構成比率

売上高●936百万円（前年同期比 8.0%増）
営業利益●23百万円（前年同期比45.4%増）

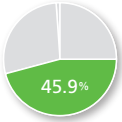
当第2四半期の概況

輸出事業は海外大学図書館向けの雑誌販売が不調でしたが、研究機関向けの書籍販売及び円安継続により米国への日本語教材や欧州へのCDの売上が順調に推移しました。また仕入コストを抑えたことも影響し、増収増益となりました。

その結果、当部門の売上高は9億3千6百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は2千3百万円（前年同四半期比45.4%増）となりました。

売上高の推移（百万円）

メディア事業



セグメント別
売上高構成比率

売上高●1,712百万円（前年同期比 7.1%増）
営業利益●13百万円（前年同期比74.8%減）

当第2四半期の概況

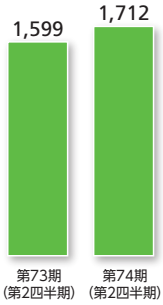
輸入音響関連商品は自社オリジナルの新シリーズを投入したことや大手販売店、大手ネットショップとタイアップしたプライベート商品シリーズの販売強化により大幅な増収となりました。

雑貨関連に関しては家電メーカーが注力している音響ヘッドフォンの雑貨店、書店など独自チャンネルでの販売が堅調に推移したことや増加する外国人旅行者向けの和雑貨販売の順調な進捗も増収の要因となりました。

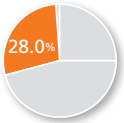
利益面では販売価格の見直し等の努力はしたものの、やはり輸入先である欧州や米国通貨の円安の影響が大きく、また広告宣伝等の販促費用の増加により、営業利益は大幅に減少いたしました。

その結果、当部門の売上高は17億1千2百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は1千3百万円（前年同四半期比74.8%減）となりました。

売上高の推移（百万円）



洋書事業



セグメント別
売上高構成比率

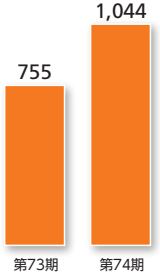
売上高●1,044百万円（前年同期比38.2%増）
営業損失●34百万円（前年同四半期は6千2百万円の営業損失）

当第2四半期の概況

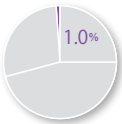
主力事業の英語テキスト販売に関しては大学の採用品(教科書)販売が堅調に推移し、今後は政府の英語教育強化の影響で高校から幼児までの幅広い階層での需要も増え売上拡大が見込まれます。また外国人旅行客の増加による英語版の日本文化紹介書籍の販売拡大や東南アジアを中心に日本語を学ぶ留学生の増加により、日本語テキストの販売も順調に伸び増収となりました。利益面では、自社物流センターの合理化等により返品率の改善や営業費用の圧縮により、営業利益の確保とはなりませんでしたが前年同四半期に比べて営業損失を大幅に減少することができました。

その結果、当部門の売上高は10億4千4百万円（前年同四半期比38.2%増）、営業損失は3千4百万円（前年同四半期の営業損失6千2百万円）となりました。

売上高の推移（百万円）



不動産賃貸事業



セグメント別
売上高構成比率

売上高●41百万円（前年同期比9.2%減）
営業利益●21百万円（前年同期比26.7%増）

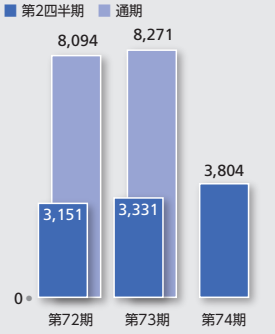
当第2四半期の概況

北海道経済の低迷で入居者が減少していた札幌の学生会館を前連結会計年度末に売却したため売上高自体は減少しましたが、本社テナント事業の順調な推移や学生会館の売上原価がなくなったことにより、営業利益は増加しております。

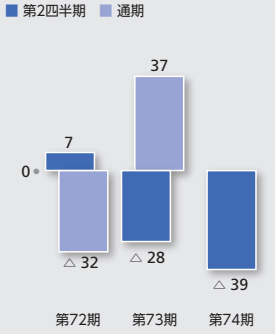
その結果、当部門の売上高は4千1百万円（前年同四半期比9.2%減）、営業利益は2千1百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

売上高の推移（百万円）

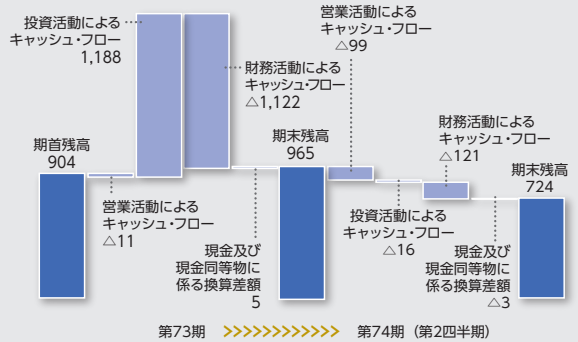
売上高 (百万円)



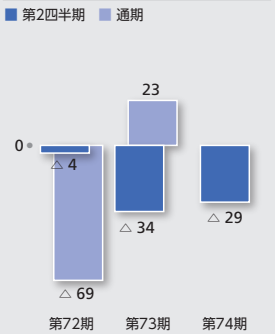
営業利益 (百万円)



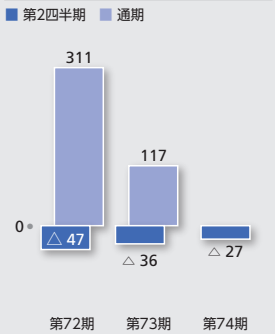
キャッシュ・フローの状況 (百万円)



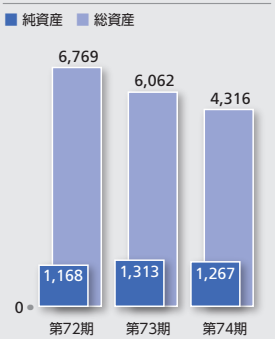
経常利益 (百万円)



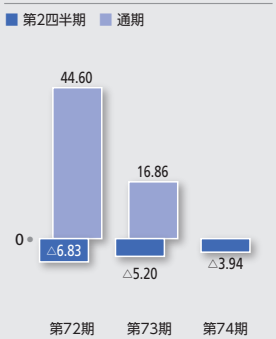
四半期（当期）純利益 (百万円)



純資産／総資産 (百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (円)



財務コメント

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億4千6百万円減少し、43億1千6百万円となりました。これは主に流動資産で現金及び預金が2億4千万円、受取手形及び売掛金が12億円減少したことが要因です。納税及び長期借入金の返済により現金及び預金が減少し、大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億9千9百万円減少し、30億4千9百万円となりました。これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が10億4千万円、未払法人税等が1億3千1百万円、前受金が3億8千6百万円、固定負債で長期借入金が8千6百万円それぞれ減少したことが要因です。資産について記載した大学等への英語教科書の仕入代金支払により支払手形及び買掛金が減少し、納税により未払法人税等が減少し、年間購読雑誌の出荷により前受金が減少し、金融機関への約定返済により長期借入金が減少しております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は12億6千7百万円となり前連結会計年度末に比べ4千6百万円減少しております。これは主に四半期純損失2千7百万円の計上と配当金2千万円の支払いにより利益剰余金が減少したことが要因です。

以上の結果、自己資本比率は29.4%(前連結会計年度末は21.7%)となり、7.7ポイント増加しております。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2億4千万円減少し、7億2千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は9千9百万円（前年同四半期は6千7百万円の資金の減少）となりました。

これは主に法人税等の支払1億3千9百万円を支出したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1千6百万円（前年同四半期は10億8千2百万円の資金の増加）となりました。

これは主に無形固定資産の取得に1千3百万円支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1億2千1百万円（前年同四半期は12億4千3百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、長期借入金の返済が9千2百万円実行されたことによるものであります。

株式の状況（平成26年9月30日現在）

発行可能株式総数 …… 24,000,000株

発行済株式の総数 …… 7,000,000株

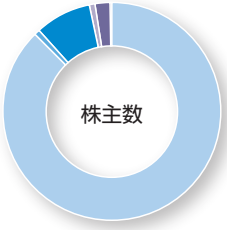
株主数（自己名義除く） …… 391名

大株主

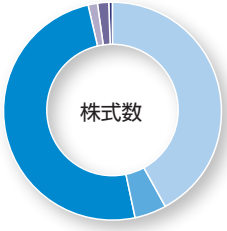
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社トーハン	1,500,000	21.50
中林三十三	1,044,000	14.96
丸善株式会社	700,000	10.03
株式会社講談社	554,000	7.94
ファーストインベスターズ株式会社	241,000	3.45
株式会社三井住友銀行	240,000	3.44
濱田聖史	164,000	2.35
日本出版貿易取引先持株会	148,000	2.12
阪田和弘	105,000	1.50
小島幸雄	90,000	1.29

（持株比率は、自己名義株式を控除して計算しております。）
（持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。）

所有者区分別株式分布状況



個人・その他	343名	(87.50%)
金融機関	4名	(1.02%)
その他の国内法人	33名	(8.42%)
外国人	3名	(0.77%)
証券会社	8名	(2.04%)
自己名義	1名	(0.25%)



個人・その他	2,945,055株	(42.07%)
金融機関	327,000株	(4.67%)
その他の国内法人	3,491,866株	(49.88%)
外国人	81,600株	(1.17%)
証券会社	130,529株	(1.87%)
自己名義	23,950株	(0.34%)

会社概要（平成26年9月30日現在）

商号	日本出版貿易株式会社
代表者	代表取締役社長　綾森　豊彦
創立	昭和17年1月28日（1942年）
資本金	430,000,000円
従業員数	115名
本社所在地	〒101-0064 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号
営業所	大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目12番15号 第5新大阪ビル503号 九州営業所 〒810-0022 福岡市中央区薬院四丁目5-2 ARKヴィラ薬院206号
事業内容	書籍、雑誌等一般出版物、学術文献、各種教材、音楽関連ソフト及び雑貨品等の輸出入並びに国内販売。 不動産の賃貸及び管理。

役員・監査役

代表取締役社長	綾森　豊彦	取締役	吉澤　和宏
常務取締役	近藤　隆一	常勤監査役	宮川　修
取締役相談役	中林　三十三	監査役	片岡　義正
取締役	松並　恒次	監査役	中村　康一
取締役	林　恭彦	監査役	志村　真嗣

子会社・関連会社

JPT AMERICA, INC.

CULTURE JAPON S.A.S.

JPT EUROPE LTD.

HAKUBUNDO, INC.

株式会社日貿出版社

ホームページのご紹介

当社では、会社案内をはじめ取り扱い商品、IR情報の他、様々な情報をお伝えするホームページを開設しています。是非、ご覧下さい。

日本出版貿易　検索

http://www.jptco.co.jp/

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
期末配当金受領株主確定日	3月31日
公告の方法	当社の公告方法は、電子公告といたします。 公告掲載URL　http://www.jptco.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。）
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料） 〔受付時間 9：00～17：00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕 ホームページ　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

ご注意

(1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。

(3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

日本出版貿易株式会社

〒101-0064　東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号
TEL：03-3292-3751　http://www.jptco.co.jp/

VEGETABLE OIL INK